

<白金標準、4300 円で下げ渋りペナントレンジの離脱を待つ・・・>



(出所：オアシス)

中国の恒大集団や碧桂園（カントリー・ガーデン）の中国不動産開発会社の信用リスクの高まりもある中で、中国市場は 28 日から 10 月 6 日まで国慶節の大型連休に入っている。特に深セン市は 28 日に住宅ローン金利の引き下げを発表するなど、不動産販売促進の効果を狙った動きを見せている。また中国製造業 PMI は 8 月の 49.7 から 9 月は 50.2 と好不景気の分岐点である 50 を上回っている。

ただ米国では UAW とビッグ 3 の労使交渉では、週末に GM のミシガン州ランシングの工場 1 カ所とフォードのシカゴの工場 1 カ所で新たにストライキを実施すると発表し、43 の工場に拡大するなど、心理的に高値が抑えられる要因へ結び付いている。

そのため白金標準先物は、先週に一時 4237 円まで下値を試しながら 4239 円で下値が切り上げられると 9 月 25 日以来の 4400 円まで戻りを見せている。特にペナントレンジの形成で 4300 円以下は底堅く、反発を待つ値動きが強まるなど中国や米国の悪材料を受けても NY 白金が 900 ドルを維持している以上、4300 円以下は買い場と考えるのが妥当に思える。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** は下げ渋り、**シグナル** は下げ止まるなど乖離が縮小している。RCI では**短期**が下げ止まり、**長期**は切り上げだすなど、テクニカルの基調が強気に転じる直前に見え、売り込む事は避けた方が妥当に思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,530,000 円(2023 年 10 月 2 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 87,120 円(2023 年 10 月 2 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当日本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>